

柿産地の新たな生産者確保に向けて 「豊橋かき塾」を開講します!!

JA豊橋では、高齢化や後継者不足により柿農家が減少し、産地規模の縮小が進んでいます。そこで、JA豊橋では“活力ある柿産地”の維持強化に向けて、積極的に柿農家の担い手確保や育成を図るため、2018年度から「豊橋かき塾」を開講しています。今回で6回目の開講となり、12月から翌年9月まで全5回の講義と実習を通じて、柿のせん定や生理生態（植物的な特徴）・摘蕾・摘果・収穫方法、柿農家経営の方法などを学びます。



昨年の様子

【JA豊橋の柿 概要】

栽培面積：204ha

生産者：309人

栽培品種：「西村早生」「早秋」「次郎」

「愛秋豊」「富有」「陽豊」など

生産量日本一の主力品種「次郎」のほか、「早秋」「陽豊」など豊橋産の柿の安定生産や消費拡大に向けて、当JA柿部会を中心に取り組んでいる。



第一回講義・開講式

- ・日 時：令和6年12月14日（土） 午前9時より
- ・場 所：講義 JA豊橋 第六事業所（豊橋市石巻本町字太夫橋1-2）
実習 豊橋市石巻萩平町内柿園（講義終了後、ご案内します）
- ・講義内容：開講式・柿のせん定について
- ・受講予定者：10名（柿農家後継予定者、経験の浅い農家等）

【お問い合わせ先】※取材にお越しいただける場合は、事前にご一報ください。

JA豊橋 総務部組合員課（担当：鈴木・加藤） Tel(0532)25-4105 Fax(0532)25-7754

携帯：090-7028-1505 E-mail: kouhou@toyohashi.aichi-ja.or.jp

営農部指導推進課（担当：佐野） Tel(0532)25-3552 Fax(0532)25-6220

第六事業所（担当：望月） Tel(0532)88-4455 Fax(0532)88-2433

※JAグループ愛知記者会にもリリースを行っています。